

「絵仏師良秀」予習プリント

「Jのプリントを参考にして、ノートに記した本文に傍線注釈をすること。

傍線注釈

ノートの見開き上ページのみに本文をボールペンなどで2~3行空けて写す。
下ページは文法や内容をまとめたり、辞書で引いた語や気づいたことを記す欄にする。
傍線(—)を引いてその右側にその単語の現代語訳を書く。
傍線を引いて右側に何も書かないとその語を消したということになる。
傍線は単語ごとに引く。(2単語以上続けて線を引かない。単語の途中だけ引かない。)
斜線(／)を引き、挿入する語を斜線の下に書く。(横に書かない。)
傍線注釈は鉛筆で書き、訂正の場合は赤ペンで直す。

※授業当日ランダムで誰かにあてて、黒板に書いてもらいます。

() は現代語訳を自分で調べて考える部分です。

《》はそこに省略されている語を補って現代語訳を考える部分です。
| の部分は本文(教科書の文章)ではどこに当たるか。過不足無く記しなさい。

①これも()、絵仏師良秀と()。

②《》の《》家の隣の《家》より()、風が()《ようすに吹いて》
《火が》迫ってきたので、《》は()、()。

③《ある》人()《良秀に》描かせた《絵の》仏()《家の中に》
()。

④また、着物を着ない()。

⑤《》は《》そんなことも構わずに、()をよい」として、《大通
りの》()立つている。

⑥見ると、《》は《》すでに自分の()、煙や炎がくすぶりだし《て、
火がおさまつ》たころまで、《良秀はその間》ほとんど、()、眺
めていたところ、

⑦「()ことだ。」と《》て、人々が()、《》は少しも()。

⑧「()。」と《ある》人が言つたところ、《》は()、家()
を見て、()、時々()。

①~⑤から下二段活用
と変格活用の動詞を見
つけ、活用表を作り、
活用の行を記しなさ
い。

⑤「それ」とは何か?
⑥「くゆりけるまで」
どのくらいの時間?

⑨「()、大変なもうけものをした」とよ。

⑩「()、『絵を』下手に()。」と言ったときに、

⑪「()、「()、「は」こうして立つておいでなのかな。

⑫「()だなあ。あやしげな靈が取り憑くはずがあろうか。『いや、()。』

⑬どうしてあやしげな靈が取り憑くはずがあろうか。『いや、()。』

⑭「()、不動尊の()のだ。

⑮今『この火を』見ると、『火というものは』このように()と、

()たのだ。

⑯これこそ()よ。この道(=の道)を専門として()から

には、仏()上手に書き申し上げたならば、百や千の家もきつと

()。

⑰お前さんたちは、これといった才能もお持ち合わせにならない

ので、ものを()。()、()。

⑲その後であろうが、良秀の「よぢり不動」といつて、今に『至るまで』()。

※この文章は何を伝えたいものなのか？（主題は？）

⑨「せうとく」を漢字で書くとどうなる？

⑩と⑦の「あさまし」とどのようなニュアンスの違いがあるか。
⑪反語の用法……疑問の形で示すことにより、その反対のことを強調して表現する「うか、いや／ない・う（ない）か、いや／（だ）」

⑫「たくさん」の家がきる」というのは、何で言っているのか？
⑬「よにあり」を引く
⑭「係り結び」……2つの「こそ」の結びはそれ何？
⑮「心得」活用の行種102類
⑯「たくさん」の家がきる」というのは、何で言っているのか？
⑰「よにあり」を引く
⑱「もの」とは例えば何？

⑲「たくさん」の家がきる」というのは、何で言っているのか？
⑳「よにあり」を引く
㉑「係り結び」……2つの「こそ」の結びはそれ何？
㉒「もの」とは例えば何？